

市民協働事業 相互評価シート

1 市民協働事業の概要

事業名称	ちよこっと子育てレスキュー隊事業			
実施主体	団体等	NPO法人のはらネットワーク		
	行政	横浜市市民局（都筑区役所）		
事業の目的	乳幼児期の一時預かりの課題を区内の支援者と共有し、今ある資源を最大限に生かして地域における切れ目のない子育て支援を目指す。			
事業の内容	①緊急性の高い一時預かりの仕組みづくり ②モデル地区内での出張一時預かり ③ちよこっと子育てレスキュー隊に関する協議会の設立			
役割及び責任 分担等		のはらネットワ ークの役割	都筑区の役割	市民局の役割
	緊急性の高い一時預かりの仕組みづくり モデル地区内での出張一時預かり ちよこっと子育てレスキュー隊に関する協議会の設立	1 乳幼児一時預かりに関する協議会の設立と運営 2 出張一時預かりの検討とモデル実施 3 記録及び報告書の作成	1 事業に関連する相談対応や情報提供 2 区内の関係団体との連携協力 3 会場提供調整協力 4 事業周知協力	1 事業に関連する相談対応や情報提供 2 区内の関係団体との連携協力 3 会場提供調整協力 4 事業周知協力
実施期間	①提案のブラッシュアップ 平成30年4月1日～平成31年3月31日 ②事業実施 平成31（令和元）年4月1日～令和2年3月31日			

記入日	令和 2 年 6 月 29 日
記入者	<ul style="list-style-type: none"> ・団体等名： NPO 法人のはらネットワーク ・記入責任者 氏名： 理事長 山田 由美子 連絡先： 045-914-6272
	<ul style="list-style-type: none"> ・部署名： 横浜市市民局市民協働推進課 ・記入責任者 氏名： 山本雅子 連絡先： 045-671-4736

1 事業実施プロセス相互チェックシート

このチェックシートは、事業実施に伴う、それぞれの段階で、必要なことができたかどうか、相互にチェックをおこなうシートです。相互の視点からチェックを行い、その後、「2 事業評価相互検証シート」で総合的な評価検証をおこないます。

◎相互チェックシートの評価基準

よくできた	まあまあできた	あまりできなかった	まったくできなかった
A	B	C	D

①事業計画段階

		NPO 法人 のはらネットワーク	横浜市
1	自分たちが達成すべき大きな目的やミッションについてよく話し合うことができましたか。	A	A
2	お互いの立場や組織の違いを話し合っよく理解することができましたか。	A	A
3	ニーズを把握して共有するとともに、この事業の目標と実施方法を話し合っ決めてことができましたか。	A	A
4	実現のためにそれぞれが何をできるかを考え、話し合っ役割分担を決めることができましたか。	A	A
5	事業を始めることや計画中であることを、ホームページや会報等を使って市民に発信することができましたか。	B	B

②事業実施段階

		NPO 法人 のはらネットワーク	横浜市
1	率直な意見交換のもとに、お互い対等な立場で事業をすすめることができましたか。	A	A
2	お互いの強みや得意分野を、どう生かし合えるかを考え、提案しながら取り組むことができましたか。	A	A
3	相手に任せっきりにせず、お互いが役割を自覚して積極的に取り組むことができましたか。	A	A
4	事業の進捗に応じて、目標、ニーズ、対象、実施方法などをふりかえり、修正しながら取り組むことができましたか。	A	A
5	必要に応じ、関連する他の部署や団体などを巻き込みながら事業をすすめることができましたか。	A	A
6	事業終了後の見通しについて、話しながら取り組むことができましたか。	A	A
7	事業の進捗状況を、ホームページや会報等を使って市民に発信することができましたか。	C	C

③ふりかえり段階

		NPO 法人 のはらネットワーク	横浜市
1	協働することで、単独でおこなうのに比べてどのような効果が得られたか、話し合っ共有できましたか。	A	A
2	受益者が満足を得られたかどうかについて、話し合っ確認することができましたか。	A	A
3	期待された事業成果を得られることができましたか。	A	A

3 事業評価相互検証シート

事業実施プロセス相互チェックシートでおこなった結果をもとに、相互で本検証シートを作成します。

提案のブラッシュアップ（平成30年度）

（協働して事業計画をつくるにあたり、お互いに共有できたことや認識に違いがあったこと、今後、改善が必要と思われることはどのようなものですか。）

【共有できたことや認識に違いがあったこと】

（NPO 法人のはらネットワーク）

・初めは、自分たちの関わる子育て支援の課題解決のためにすぐ実行したいと先走ってしまっていました。協働とは、相手に求める事。自分たちがすべきこと。のまとめ方など初歩的なことをひとつひとつ丁寧にアドバイスいただき（ほかのNPOの方からのアドバイスはとても参考になりました）、市民局の方に伴走していただいたことで進めていくことができました。

また、区の担当の方の協働に対する理解があったことも 初心者の我々が一步一步学びながら進めることができた要因だったと思います。

（横浜市）

・提案当初の段階から、一時預かり事業の所管であるこども青少年局や都筑区役所とも検討を行い、一時預かり事業の中でどのようなことができるかできないか、また、独自の取組としてどのようなことができるかできないか、確認しながら進めることができました。

【今後改善が必要と思われること】

（NPO 法人のはらネットワーク）

・今回のように時間をかけて伴走していただけるといいと思います。我々のような初心者にとっては経験がすべて学びになるのだと実感しました。

（横浜市）

・今回のように、本市の事業に関連する取組については特に、検討の早い段階で関係区局の部署との調整を進めて行くことが、取組を進めていく上で重要です。

事業実施（令和元年度）

（協働して事業を実施した結果、お互いに共有できたことや認識に違いがあったこと、今後、改善が必要と思われることはどのようなものですか。）

【共有できたことや認識に違いがあったこと】

（NPO 法人のはらネットワーク）

・協議会を立ち上げて 顔を合わせて話し合いができたことは、今後につながる大きな一歩となりました。行政の**事業がきっかけ**の協議会ではありますが、課題を共有する団体同士が自分たちで協議会を立ち上げられたのは、とても意味のあることだったと思います。

出張一時預かりの実施に当たっては、求められる支援の内容は、一人一人違うということを改めて実感し、多様なニーズに応えられるためには、一つの団体では難しくこうしたネットワークで対応していくことの必要性を感じました。柔軟に対応できたのは、それぞれの団体の支援者の「寄り添う力」と「つながり」によるところが大きかったと思います。

（横浜市）

・この取組をきっかけに、都筑区内の子育て支援者の方々の新たなネットワークがつくられたこと、また、取組の中で行われたアンケートや、実際の一時預かりの現場などの声から当事者の方々のニーズへ柔軟に

対応するなど、様々な方が参加する協働事業ならではの取組となりました。

【今後改善が必要と思われること】

(NPO 法人のはらネットワーク)

・新型コロナ感染症により 昨年と同じように進めていくことが難しい事項と新たな子育ての不安や課題もでていることで「2020 ちょこっと子育てレスキュー隊」を検討していく必要があります。

(横浜市)

・現在の新型コロナウイルス感染症の影響も踏まえながら、継続できる取組方法を検討していく必要があります。

事業の成果

(協働して事業を実施した結果、当初期待された事業効果がどのような成果となりましたか。)

(NPO 法人のはらネットワーク)

・これからますます多様な課題を抱えて子育てに不安を抱える親が増えていく時代に 今回の「ちょこっと子育てレスキュー隊」の取り組みはたくさんのヒントを与えてくれたと思います。まずは区内の支援者のネットワークの活用。課題を共有すること、情報を提供することの大切さ。課題を自分たちだけで抱え込まないこと。そうすることで、まだまだできることがあるのだと気づかされました。

今回新型コロナウイルス感染症の影響で3月に予定していた「フォーラム」が延期となっていますが、子育ての課題を支援者だけでなく、地域に広めていく機会となるようにしていきたいです。つながりを広げて網の目を細かくすることで支援からこぼれ落ちていく親子を救えるようにしていきたいです。

(横浜市)

・当初の提案から、何度も検討を重ねる中で、取組のアイデア、つながりの輪が広がっていったこと、また、それが地域の子育て支援者の皆さんによる「ちょこっと子育てレスキュー隊」となり、取組そのものが広がったことが、まさに協働事業の成果となりました。今回の取組は協働の展開の仕方としても、今後の他の取組の参考になると考えます。

自由記入欄

(NPO 法人のはらネットワーク)

ありがとうございました。

これからこの取り組みをより豊かに展開できるよう努めたいと思います。